



## 電気ケトル

## 取扱説明書

## CK-VAQ15T



●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

## もくじ

安全上のご注意 .....	2
各部のなまえと扱い方 .....	4
湯を沸かす .....	7
湯を注ぐ .....	9
残り湯を捨てる .....	10
空だき防止 .....	10
お手入れ .....	11
クエン酸洗浄 .....	12
内ぶたパッキンの交換 .....	12
部品の交換・購入について .....	13
商品Q&A .....	13
故障かなと思ったとき .....	13
仕様 .....	15

●この商品は湯沸かし専用です。  
保温機能はついていません。

**บริษัท โซจิรุชิ เอเชีย คอร์ปอเรชั่น จำกัด**  
เลขที่ 1828 อาคารสหยูเนี่ยน ชั้น 4 ถนนสุขุมวิท แขวง  
พระโขนงใต้ เขตพระโขนง กรุงเทพมหานคร 10260  
โทรศัพท์: 02-741-4818 แฟกซ์: 02-741-4819

**ศูนย์บริการแสงทองอิเล็กทรอนิกส์**  
3131/6-8 ถนนสุขุมวิท 101/2 เขตบางนา  
กรุงเทพมหานคร 10260  
โทรศัพท์: 02-393-5050

**Zojirushi SE Asia Corporation Ltd.**  
1828 Saha-Union Building, 4th Floor, Sukhumvit  
Road, Phrakhanong Tai, Phrakhanong,  
Bangkok 10260  
Tel: 02-741-4818 Fax: 02-741-4819

**SANGTHONG ELECTRONICS SERVICE  
CENTER**  
3131/6-8 Sukhumvit 101/2 Rd. Bangna,  
Bangkok 10260  
Tel: 02-393-5050

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

**警告** 死亡や重傷に結びつく恐れがある内容です。

**注意** 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐れがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

❗ 実行しなければならない「指示」内容です。

## 警告

⊘ 改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない  
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

水に浸けたり、水をかけたりしない  
流し台など水にぬれた場所に置かない  
ショート・感電の原因になります。

本体接続部や電源プレートは液体に浸けたり、液体をかけたりしない  
ショート・感電の原因になります。

ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない  
感電・けがの恐れがあります。

注ぎ口に触ったり、手や顔を近づけない  
やけどの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

注ぎ口をふきんなどでふさがない  
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。ふたの変形・変色や故障の原因になります。

ふたを勢よく押し込まない  
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。

満水表示以上の水を入れない  
湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。



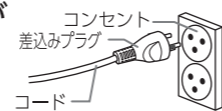
製品を抱きかかえたり、傾けたり、揺すったり、ふたを持って移動や排湯をしない  
湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

製品を転倒させない  
湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

交流220V以外では使用しない  
火災・感電の原因になります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない  
やけど・けが・感電の恐れがあります。

⊘ コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩いときは使用しない  
感電・ショート・発火の原因になります。



コードを傷つけない  
無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、高温部に近づけたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

氷を入れて保冷用に使わない  
結露が生じ、感電・故障の原因になります。

直火(ガス台など)や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない  
火災・故障の原因になります。

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない  
泡立ちが起こり、内容物がふきだして、やけどの恐れがあります。また水路が詰まったり内容物の焦げつきや腐食の原因になります。

- 牛乳・酒・スープ・備長炭・ティーバッグ・お茶の葉
- インスタント食品の調理
- レトルト食品のあたためや食材をポリ袋などに入れて加熱する調理

本体接続部・電源プレート接続部(金属部)にピンなど金属片やごみを付着させない  
感電・ショート・発火の原因になります。

本体接続部・電源プレート接続部(金属部)をなめさせない  
感電・けがの恐れがあります。特に乳幼児には触らせないようにご注意ください。

❗ 内ぶたパッキンが硬くなったり、変形したり、白く変色するなど、消耗したら交換する  
傾けたり誤って倒したときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。

定格10A以上のコンセントを単独で使う  
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

## 警告

❗ 差込みプラグは根元まで確実に差し込む  
感電・ショート・発煙・発火の原因になります。  
差込みプラグの刃(プラグの先端)および刃の根元にほこりが付着している場合はよくふく  
火災の原因になります。

この機器は、安全に対する責任者によってこの機器の使用に関する指揮管理または指示が与えられない限り、運動能力、感覚能力もしくは知的能力が低下した、または経験および知識が不足した人(子供を含む)による使用を意図していない。子供は、機器で遊ばないことを確実なものとするよう指揮管理を受けることが望ましい

❗ ふたは確実に取りつける  
倒れたときに湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。

異常・故障時には直ちに使用を中止する  
そのまま使用すると、発煙・発火・感電・けがの原因になります。  
<異常・故障例>  
●差込みプラグ・コードが異常に熱くなる  
●コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする  
●製品が変形したり、異常に熱くなる  
●製品から煙が出たり、焦げくさいにおいがする  
●製品の一部分が割れたり、緩みやがたつきがある  
●注ぎ口から蒸気が5分以上出続ける  
●製品から水が漏れる  
このような場合は、すぐに差込みプラグを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼する

## 注意

⊘ ふたをはずすときは、出る蒸気に触れない  
やけどの恐れがあります。

使用中や使用後しばらくは高温部(注ぎ口・注ぎ口カバーなど)に触れない  
やけどの恐れがあります。

製品を持ち運ぶときは、ふた開閉つまみに触れない  
ふたがはずれて、やけど・けがの恐れがあります。

壁や家具の近くで使わない  
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。

不安定な場所では使用しない  
やけど・けがの恐れがあります。

熱に弱い敷物の上では使用しない  
火災の原因になります。

湯沸かし中は、湯を注がない  
湯が飛び散り、やけどの恐れがあります。

⊘ 熱源のそばで使用しない  
火災・故障の原因になります。

専用の電源プレート以外は使用しない  
電源プレートは他の機器に転用しない  
また海外仕様の電気製品に使用しない  
故障・発火の原因になります。

❗ 使用時以外は、差込みプラグをコンセントから抜く  
やけど・けが・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

お手入れは冷めてから行う  
高温部に触れ、やけどの恐れがあります。

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って抜く  
感電・ショート・発火の原因になります。

コード・差込みプラグが破損した場合には、危険が生じることはないように、製造者もしくはその代理店に交換を行ってもらうこと

## お願い

■ 空だきはしない  
火災・故障の原因になります。

■ 落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない  
故障・破損の原因になります。

■ 続けて使用するときは、ふたや本体が冷めてから湯沸かしを行う  
やけどの恐れがあります。

■ 他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない  
蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。

■ 凍結する恐れのある場所に放置する場合は、必ず内容器の水を完全に捨てる  
凍結による故障の原因になります。

■ 本体や電源プレートを強く置いたり、引きずって移動しない  
机などに傷がつく原因になります。

■ キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する  
変色・変形の原因になります。

■ 電源スイッチには水がかからないように注意する  
故障の原因になります。



■ 本製品は一般家庭用途および下記の類似用途に使用する  
●商店、オフィスまたはその他の作業環境に存在するスタッフ(従業員)用キッチンで使用する  
●住居の居間やキッチンと類似した環境で使用する  
※ただし、不特定多数による長時間の使用はしないでください。

# 各部のなまえと扱い方

●本製品は、本体と電源プレートのセパレート式になっています。

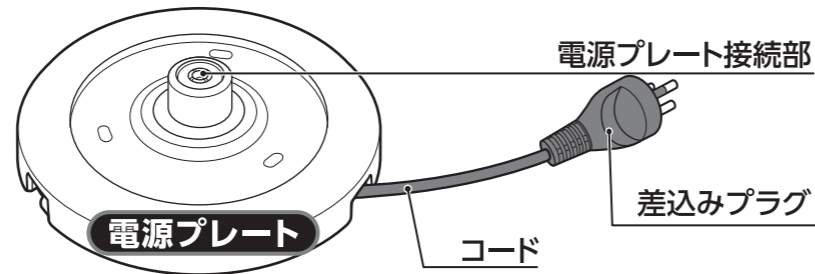
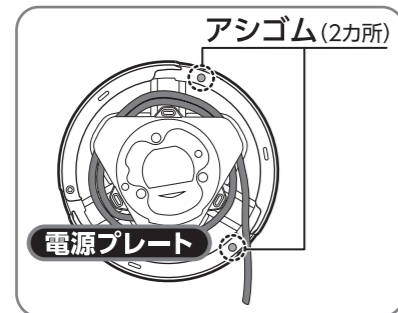
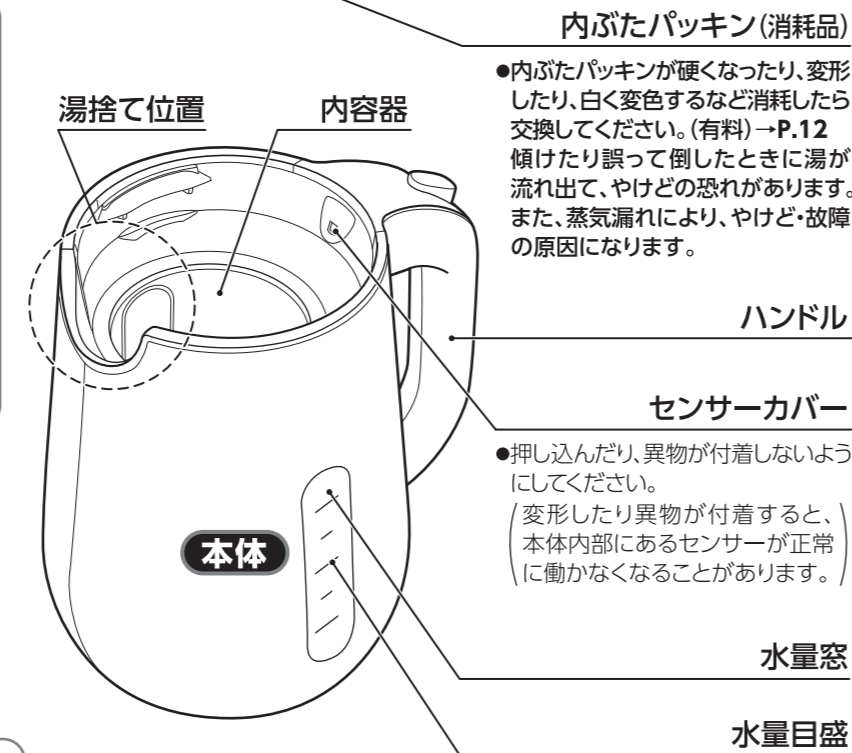
注ぐときや、ふたをはずすとき・取りつけるときに「カタカタ」という音がしますが、異常ではありません。  
→P.14

## 注ぎ口カバー

- 注ぎ口からほこりなどが入るのを防ぎます。
- 注ぎ口カバーは強くひっぱったり、曲げたりしないでください。(破損の原因になります。)

## 注ぎ口

- 注ぎ口から蒸気が出るので注意してください。

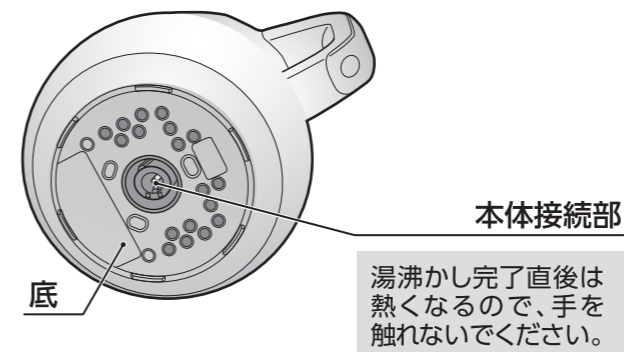


## 操作部

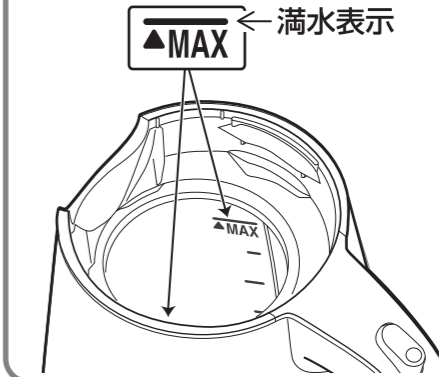
電源スイッチの下側を押すと電源が入り、湯沸かしランプが点灯します。



## 本体底部

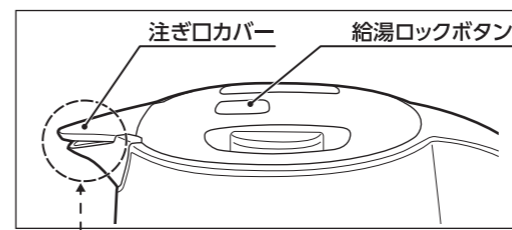


## 内容器内部



## 注ぎ口のロック・解除

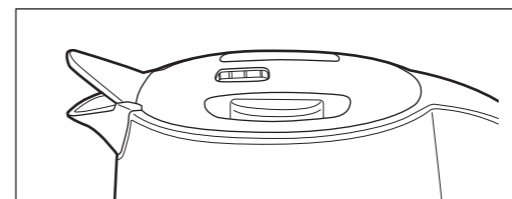
### ロック



給湯ロックボタンが上がっているときは、注ぎ口から湯が出ません。注ぐとき以外はロックにしてください。

- ロック状態でも注ぎ口カバーと注ぎ口にすき間がありますが、異常ではありません。

### 解除



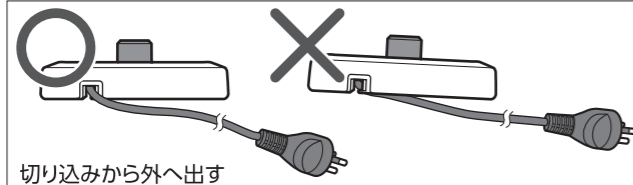
給湯ロックボタンを一度押すと、ロックが解除され、注ぎ口から湯を注ぐことができます。

# 各部のなまえと扱い方 つづき

## コードの長さ調節方法

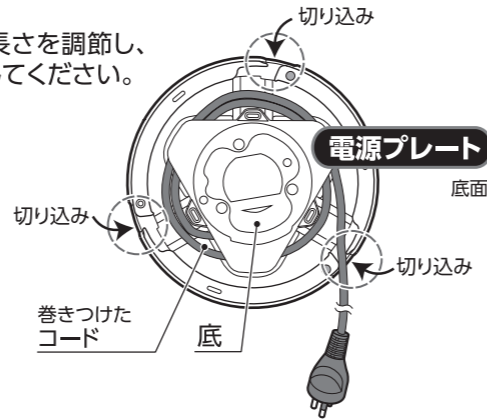
コードを電源プレート底部に巻きつけて(時計回り方向)長さを調節し、必ず電源プレートの切り込み(3カ所)からコードを外に出してください。

●切り込み3カ所のどこからでもコードは出せます。



切り込みから外へ出す

●コードの上に電源プレートを載せないでください。  
(傾いて転倒の原因。重いものを載せたり、挟み込んだりするとコードが破損し、火災・感電の原因)



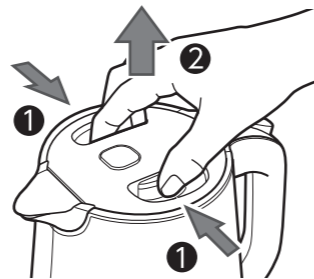
## ふたのはずし方・つけ方

**注意** ふたをはずすときや取りつけるときは蒸気に注意してください。湯沸かし中や湯沸かし完了後しばらくはふたをはずさないでください。(やけどの恐れ)

- 本体が倒れないように注意してください。万一本体が倒れた場合は、本体を起こしたあとふたをはずし、ふた内部にたまった湯をふたの注ぎ口側から出してください。(ふた内部に湯がたまることあり、やけどの恐れがあります。)
- ふたをはずすときや取りつけるときは、本体を電源プレートからはずした状態でおこなってください。

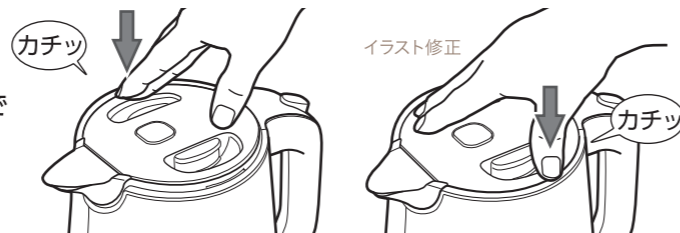
### はずし方

- ①ふた開閉つまみをつまむ
- ②そのまま引き上げ、ふたをはずす

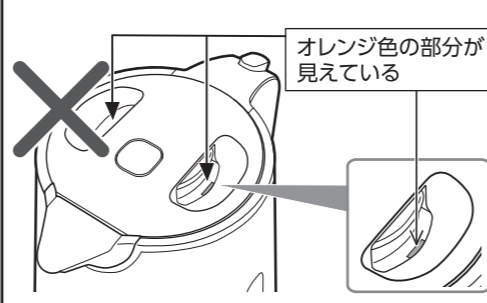


### つけ方

片側ずつふたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む



●ふたが完全に取り付けられていることを確認してください。ふたが傾いていたり、ふた開閉つまみのオレンジ色の部分が見えているときは、ふたが完全には取り付けられていません。オレンジ色の部分が見えなくなるまでふたを確実に押し込んでください。  
(そのまま使用すると湯が漏れて、やけどの恐れがあります。湯沸かしが完了しても電源が切れなくなり、故障の原因になります。)



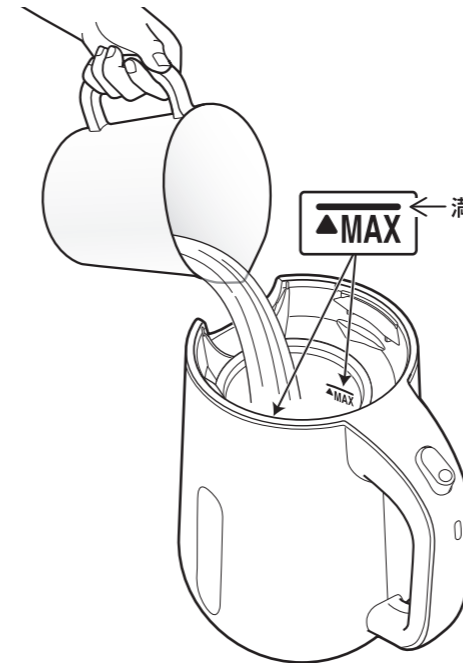
# 湯を沸かす

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

使いはじめはプラスチックなどのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

## 1 ふたをはずし、別の容器で水を入れる

本体を電源プレートに載せる前に水を入れてください。



### ●ミネラルウォーターやアルカリイオン水のご使用について

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用すると、水面に細かな浮遊物が生じたり、内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、こまめにお手入れしてください。

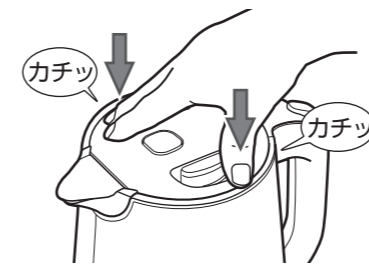
### お願い

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。(本体内部に水が入り、故障の原因)
- 電源スイッチ・本体接続部・電源プレート接続部に水がかからないように注意してください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)
- 満水表示以上、水を入れないでください。(注ぎ口から湯がふきこぼれ、やけどの恐れ)
- 水以外のものを入れないでください。
- 市販の水質改質材(炭など)やミネラル添加材を入れて使用しないでください。(かけらが詰まり、故障の原因)
- 電源プレートに本体を載せたまま水を入れないでください。(電源プレートに水がかかり、故障の原因)
- 湯捨て位置のまわりに水滴が残らないように注意してください。(本体から水が垂れる原因)

## 2 ふたを取りつけ 本体を電源プレートに載せる

### ①ふたを取りつける

片側ずつふたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

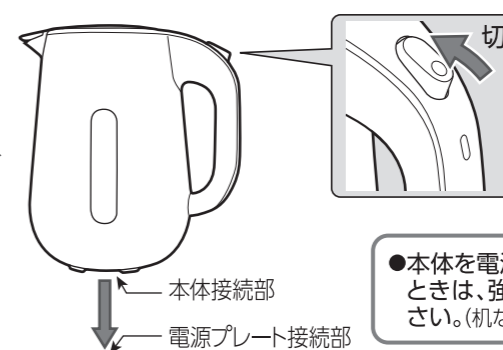


### 注意

ふたが完全に取り付けられていることを確認してください。湯沸かしが完了しても電源が切れない場合があります。(湯や蒸気の漏れ・故障の原因)

### ②電源スイッチが「切」になっていることを確認し、本体を電源プレートに載せる

本体接続部を電源プレート接続部に合わせて正しく載せてください。(正しく載せないと電源が入りません。)



●本体を電源プレートに載せるときは、強く置かないでください。(机などに傷がつく原因)

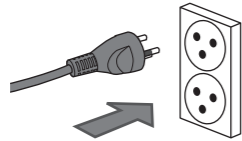
専用の電源プレート以外は使用しないでください。

電源プレートは清潔で平らなところに置いてください。

# 湯を沸かす つづき

## 3 差込みプラグをコンセントに差し込み 電源スイッチを押す

### ① 差込みプラグをコンセントに差し込む

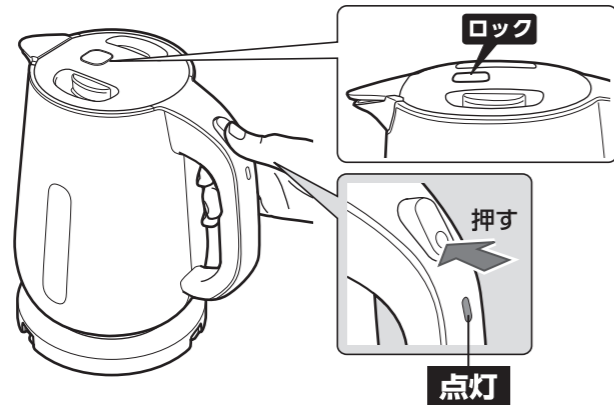


- 定格10A以上のコンセントを単独で使用してください。  
(他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火する原因)

### ② 給湯ロックボタンがロックになっていることを確認し、電源スイッチを押す

湯沸かしランプが点灯し、湯沸かしを開始します。

- 注ぎ口から蒸気が出るので注意してください。



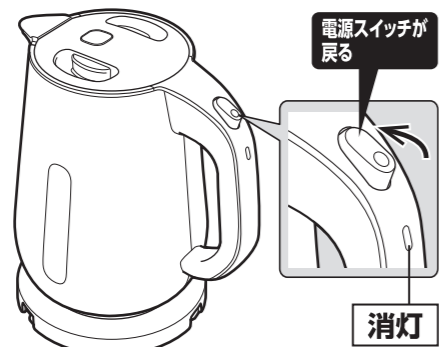
やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。

- ふたや注ぎ口にふきんをかけない
- 注ぎ口に手や顔を近づけない
- 湯沸かし中はふたをはずさない
- 湯沸かし中は湯を注がない
- 湯沸かし中は移動させない

湯沸かしが完了すると

### ③ 自動的に電源が切れる

湯沸かしランプが消灯します。



- 湯沸かしが完了するまでに電源を切る場合は、電源スイッチの上側を押して電源を切ってください。
- 保温機能はありません。

湯沸かし時間 約7分

(室温23℃・水温23℃・定格消費電力・満水の場合)

湯沸かし完了直後は注ぎ口・本体接続部が熱くなりますので注意してください。特に乳幼児には触らせないように注意してください。



- 湯沸かし完了後しばらくは、ふたをはずさないでください。(やけどの恐れ)

### 注意

電源スイッチを押し続けて湯沸かしを無理に継続しないでください。本体内部に蒸気がたまり、故障・水漏れ・やけどの原因になります。

# 湯を注ぐ

沸とう状態がおさまってから湯を注いでください。

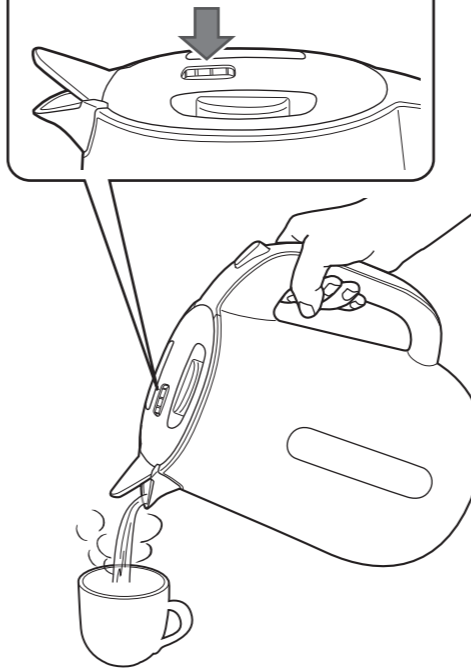
湯沸かしランプが消灯していることを確認したあと

### ① ハンドルを持って本体を電源プレートからはずし、給湯ロックボタンを押して解除にしてから、ゆっくりと傾けて湯を注ぐ

- 本製品は蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。この蒸気が水滴となって本体の底から垂れることがあります。故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。

### 注ぐとき

給湯ロックボタンを押して、解除にする



### 注意

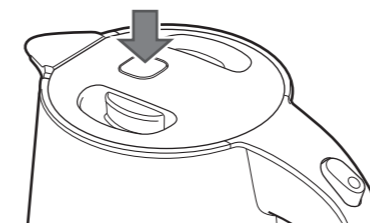
やけどの恐れがありますので、注ぐときは以下の内容をお守りください。

- 本体接続部に手をふれない
- 注ぎ口から出る湯や蒸気に注意する
- 急に傾けない
- 注いでいる間は、給湯ロックボタンを押さない(湯が飛び散り危険)
- 注いでいる間は、ふた開閉つまみに触れない

### お願い

- 湯沸かし完了後しばらくは、ふたをはずしたりつけ直したりしないでください。(注いだときに湯が飛び散る原因)

### ② 注ぎ終わったら、本体を水平に戻し、給湯ロックボタンを再度押してロックしておく



- 使用後しばらくすると、「カチッ」と音がすることがありますが、これは熱せられたセンサーが冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。安心してお使いください。

### お願い

- ロック状態でも、製品を転倒させたり、傾けたり、揺るなど絶対にしないでください。また、万一製品を転倒させた場合は、製品を起こすときに注ぎ口に手などを近づけないでください。(注ぎ口から湯や蒸気が出てやけどの恐れ)
- ご使用後は、差込みプラグをコンセントから抜いてください。特に乳幼児には触らせないように注意してください。(けが・感電の恐れ)
- 電源プレートに戻す場合は、電源スイッチが「切」になっていることを確認してから戻してください。

# 残り湯を捨てる

使用後は湯を残さず、内容器を空にしてください。

## ①ふたをはずす(→P.6)

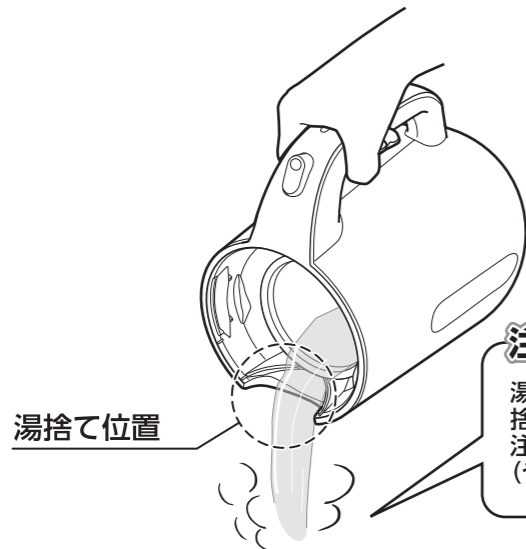
### 注意

ふた内部にたまった湯が注ぎ口や蒸気通路パッキンから出ることがあります。(やけどの恐れ)

## ②ハンドルを持ち、ゆっくりと傾けて湯捨て位置から残り湯を捨てる

### 注意

別の位置から湯を捨てると、本体内部に湯が入り、故障の原因になります。



### 注意

湯を捨てるときは、捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)

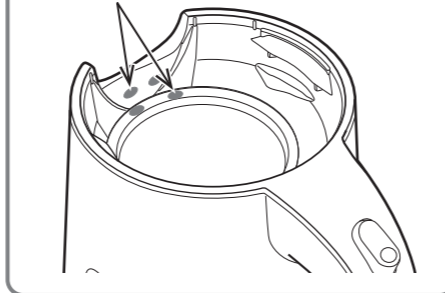
### お願い

- ぬれた手で差込みプラグ・電源プレート接続部を持たないでください。(ショート・感電の原因)
- ふたをはずすときは、注ぎ口やふた内部からのしずくが手にかからないように注意してください。(やけどの恐れ)
- 電源スイッチ・本体接続部・電源プレート接続部に湯がかからないように注意してください。(やけど・故障の原因)
- 使用後は残り湯を捨ててください。(水アカの付着やにおいの原因)

### お願い

- 湯捨て位置のまわりに残った水滴はきれいにふき取ってください。(本体から水が垂れる原因)

### 水滴



# 空だき防止

内容器が空の状態では電源スイッチを押すと、過熱による事故を防ぐために空だき防止機能が働き、自動的に電源が切れます。(湯沸かしランプが消灯します。)

### 処置

電源スイッチを「切」にし、いったん本体を電源プレートからはずして内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び湯を沸かしてください。



# お手入れ

必ず差込みプラグを抜き、残り湯を捨て、製品が冷めてから行ってください。

### お願い

- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)
- 次のものは、使用しないでください。
  - シンナー・漂白剤など(変色・割れ・劣化・腐食の原因)
  - みがき粉・ナイロンたわし・金属製のもの・メラミンスポンジ・スポンジのナイロン面・ブラシ・研磨剤入り洗剤など(表面が傷つく原因)
  - 洗剤(ふきこぼれてやけどの恐れ、においが残る原因)
- 化学ぞうきんを使用する場合は、強くふいたり長時間触れさせたりしないでください。(表面が傷ついたり、化学変化を起こす原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、においがつかないようにポリ袋などに入れて保管してください。
- ふた・本体・電源プレートの丸洗いは絶対にしないでください。

## ふた・本体・電源プレート

### よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 丸洗いは絶対にしないでください。また、電源スイッチ・本体接続部・電源プレート接続部に水をかけないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)

## センサーカバー

### 綿棒で汚れを取る

- (湿らせた綿棒でセンサーカバーをふいたあと、乾いた綿棒でセンサーカバーをふくと効果的です。)
- センサーカバーを押し込んだり、異物が付着しないようにしてください。(センサーカバーが変形すると、蒸気が漏れたり、センサーが正常に動かなくなることがあります。)

## 弁

### 綿棒で汚れを取る

- 弁を引っ張ったり、力を加えないでください。(弁が変形すると、蒸気が漏れたり、水漏れすることがあります。)

## 内容器

### 定期的クエン酸洗浄をする→P.12

- 以下のようなときに、クエン酸洗浄を行ってください。
  - 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
  - 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している
  - 湯を沸かしたとき、大きな音がする
  - 湯がにおう
- (使用される水質や湯沸かしの回数によって汚れの状態は異なります。)

## 内ふた

### ぬれた柔らかいスポンジで汚れをふき取る



## 本体接続部・電源プレート接続部・コード・差込みプラグ

乾いた柔らかい布で汚れをふき取る

# 1~3カ月に1回は クエン酸洗浄

泡立ち・ふきこぼれ防止のため市販のクエン酸(クエン酸100%)をお使いください。

クエン酸洗浄中の湯は飲まない

- 1 コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示(▲MAX)まで入れる
- 2 ふたを取りつけ、差込みプラグを接続したあと電源スイッチを押して湯を沸かし、その状態で約2時間置いておく
- 3 ふたをはずした状態で湯を捨てる
- 4 水だけを入れてふたを取りつける湯を沸かし、給湯ロックボタンを押して解除にし、注ぎ口から湯を捨てる(内容器および注ぎ口内部をすすぐため)

**お願い**

- 水は満水表示以上入れないでください。(湯がふきこぼれ、やけどの恐れ)
- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

**湯を捨てるとき**

- 捨てる湯や蒸気に注意してください。(やけどの恐れ)

●ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合は、内容器に水の成分(ミネラル分)などの汚れが付着しやすくなります。また、内容器に付着した汚れをそのままにしておくと、湯沸かしの音が大きくなります。ミネラルウォーターやアルカリイオン水をご使用になる場合はこまめにお手入れしてください。

## 内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

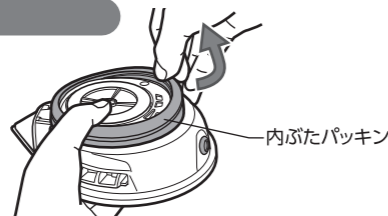
内ぶたパッキンが硬くなったり、変形したり、白く変色するなど、消耗してきたら...

新しい内ぶたパッキン(有料)と交換してください。

内ぶたパッキンが硬くなったり、変形したり、白く変色するなど消耗すると、傾けたり誤って倒したときに、ふたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。また、蒸気漏れにより、やけど・故障の原因になります。内ぶたパッキンを交換しても蒸気が漏れたり、湯がふきこぼれるときは、その他の部品が傷んでいることがありますので弊社のお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

**はずし方**

ふたをしっかりと押さえ、内ぶたパッキンをはずす

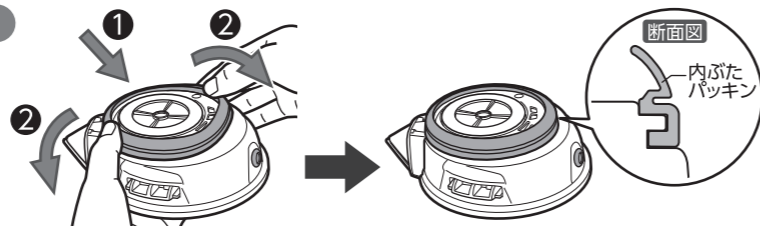


**お願い**

- ふたは分解しないでください。
- 内ぶたパッキン以外の部品をふたからはずさないでください。(湯がふきこぼれ、やけどの恐れ)
- 内ぶたパッキンは強い力で引っ張らないでください。(破損の原因)

**つけ方**

- 1 ふた外周に内ぶたパッキンを引っかけ
- 2 内ぶたパッキン全周を図の通りきっちりとはめ込む



内ぶたパッキンの取付状態を確認してください。



## 部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店で求めください。

部品名	部品番号
内ぶたパッキン	BF439020M-00

## 商品Q&A

水以外のものを入れてもいいのですか?	水以外は入れないでください。入れたものがふきだしてやけどの恐れがあります。また、故障の原因になります。	P.2
毎日湯はかえないといけないのですか?	使用後は残り湯を捨ててください。残り湯を捨てないと、内容器に水アカが付着し、湯沸かし中の音が大きくなったり、湯がにおう原因になります。	P.10
ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用してもいいのですか?	使用できます。ただし、水面に細かな浮遊物が生じたり内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。こまめにお手入れしてください。	P.7 P.12
クエン酸洗浄中の湯を飲んでしまった!!	クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従って処置してください。	

## 故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
通電しない	差込みプラグがはずれていませんか?	差込みプラグを差し込んでください。
湯沸かしランプが点灯しない	本体を電源プレートに正しく載せていますか?	正しく載せてください。
	電源スイッチを押しましたか?	電源スイッチを押してください。
	電源プレート接続部に金属片やごみが付着していませんか?	金属片やごみを取り除いてください。
	内容器が十分に冷めていますか? 空だき防止機能が働いている可能性があります。	電源スイッチを「切」にし、いったん本体を電源プレートからはずして内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び湯を沸かしてください。
電源スイッチが操作できない	湯沸かし完了直後に電源スイッチを押していませんか?	十分に冷ましてからご使用ください。
電源スイッチを押しても、しばらくすると電源が切れ、湯沸かしランプが消灯する	水は入っていますか? 空だき防止機能が働いています。	電源スイッチを「切」にし、内容器が十分に冷めてから水を入れ、再び湯を沸かしてください。→P.10
本体を電源プレートに載せるとすぐに湯沸かしを開始する	電源スイッチが「入」の状態でも電源プレートに載せていませんか?	電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、電源プレートに載せてください。
湯沸かしが完了しない	ふたがはずれていませんか?	ふたを確実に取りつけてください。
	給湯ロックボタンが解除になっていませんか?	給湯ロックボタンをロックにしてください。

# 故障かなと思ったとき っづき

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
注ぎ口から湯がふきこぼれる	水を満水表示以上入れていませんか?	水を満水表示以下に減らしてください。
湯の中で膜状のものが浮遊している	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食ではありません。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>水アカ</b></p> <p>お使いいただいているうちに、水の中に含まれている水の成分(ミネラル分)が、内容器に付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。</p> </div>
内容器に乳白色のザラザラしたものがつく	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	
湯沸かし中の音が大きくなってきた	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	
内容器に赤さび状や灰色の斑点がつく		
本体外側が異常に熱くなる	●電源スイッチを押し続けて湯沸かしを無理に継続していませんか? 無理に継続すると、本体外側が熱くなったり、本体内部で結露した水滴が垂れることがあります。 <b>電源スイッチは押し続けしないでください。</b>	
本体の底から水滴が垂れる	●本製品は蒸気を感じて電源が切れる仕組みになっています。蒸気によって、電源スイッチが結露したり、本体の底から水滴が垂れることがあります。故障ではありません。また、故障の原因になることもありませんので、安心してお使いください。	
本体外側が熱くなる	●湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になる場合がありますが異常ではありません。	
コードが熱くなる	●湯沸かし中は、コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。	
注ぐときや、ふたをはずすとき・取りつけるときに「カタカタ」という音がする	●万一転倒した場合に、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。	
湯沸かし完了後、しばらくすると「カチッ」と音がする	●熱せられたセンサーが冷めるときに発生する音であり、異常ではありません。	
ふたの消耗	内ぶたパッキン	●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目安にご確認ください。ふたと本体のすき間から蒸気が漏れたり、内ぶたパッキンが硬くなったり、変形したり、白く変色するなど、消耗してきた場合は交換してください→P.12
	樹脂部品	●ふたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換(有料)してください。

内容器は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い上げの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

# 仕様

型名	CK-VAQ15T
定格容量	1.5L
電源	交流220V 50Hz
消費電力	1300W
コードの長さ	0.7m
外形寸法(約cm)	幅22.5×奥行16.5×高さ24 (電源プレート含まない)
	幅22.5×奥行16.5×高さ26
質量	約1.0kg (電源プレート含まない)
	約1.3kg

- 特定地域(高い山・厳寒地など)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくお避けください。
- この製品は、電源電圧や電源周波数の異なる他の国や地域では使用できません。

## 6つの安全設計

### ①転倒湯もれ防止構造

倒れてもお湯がこぼれにくい構造です。\*1 \*2

\*1 ふたがしっかりと閉まっていることをご確認ください。

\*2 ロック状態になっていても、本体を傾けたり倒したりすると、注ぎ口からお湯が流れ出る恐れがあります。

### ②「本体二重構造」

外側が熱くなりにくいので本体に手をそえて注げます。(本体接続部は熱くなります。)

### ③「自動電源オフ」

沸とうを検知して、自動的に電源オフします。

### ④「空だき防止」

空だきを検知して、自動的に電源オフします。

### ⑤「給湯ロックボタン」

ロック状態であれば、万一倒れてもお湯もれを抑えます。

### ⑥「蒸気セーブ構造」\*3 \*4

\*3 水温23℃・室温23℃・定格消費電力・満水の場合  
本製品から蒸気セーブ構造を取り外した場合との比較  
湯沸し時蒸気量：蒸気セーブ構造あり 7.7g 蒸気セーブ構造なし 1.5g  
(当社自主基準による当社調べ)

\*4 蒸気がでないわけではありません。また、蒸気量は使用環境や使用状況により異なる場合があります。蒸気量は抑えられますが、結露や火傷にご注意ください。